

(別紙1)

5. 出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書データ

注意点

- こちらの項目は各分娩取扱施設において記入の必要はありません。ご提出いただいている専用請求書から平均額等を算出します。
- 出産育児一時金の直接支払制度を利用している分娩取扱施設のみ対象となります。
- 掲載は妊娠22週以降の正常分娩のみ対象となり、異常分娩の費用は掲載されません。

項目の定義

(1) 入院日数	下記の表の A の項目への記載日数
(2) 出産費用	下記の表の B、D、E、F、G の項目への記載費用の合算
(3) 室料差額	下記の表の C の項目への記載費用
(4) 妊婦合計負担額	下記の表の J の項目への記載費用（ B、C、D、E、F、G、H、I の項目記載費用の合算と同義）

出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書項目

社国		本家		被保険者証記号		被保険者証番号		妊婦氏名(カナ氏名)			生年月日		在胎週数		出産年月日				
1:社・2:国		1:本・5:家									3:昭 4:平 5:令		年 月 日		4:平 5:令		年 月 日		
死産有無		出産数		入院日数		産科医療補償制度		入院料		室料差額		分娩介助料		分娩料		新生児管理保育料		検査・薬剤料	
1:有・2:無・3:混在				A		1:対象・2:対象外・3:混在		B		C				D		E		F	
処置・手当料		産科医療補償制度		その他		一部負担金等		妊婦合計負担額		代理受取額		備考							
G		H		I				J											

●：黄色いセルに記載されている項目は、厚生労働省が運営するウェブサイトでは掲載がないが、自施設のHPや院内提示などで公表を推奨する項目

0. 分娩取扱施設の基本情報

項目等			
(1) 分娩取扱施設の名称	1. 名称		
	2. 上記のフリガナ		
(2) 施設所在地	1. 都道府県		
	2. 市・郡		
	3. 上記以降		
(3) 電話番号			
(4) ホームページ等のURL	貴施設のホームページのURL		
	facebookのURL		
	X (旧twitter) のURL		
	instagramのURL		
	LINEのURL		
	その他のホームページ等のURL		
(5) 出産育児一時金の直接支払制度の利用可否			
【選択肢】可・不可			
(6) アクセス			
【自由記載】 (例) ●●●駅から徒歩●分 ●●●バス停から徒歩●分			
(7) 駐車場			
【選択肢】有・無			
(8) 外来受付時間	月曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	火曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	水曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	木曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	金曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	土曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	日曜日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	祝日	【選択肢】 診察日・休診日	【自由記載】診察日の場合の外来受付時間 (例) ●時～●時、●時～●時
	【自由記載】事務局向けの補足説明欄 (外来受付時間について)		
(9) 外来診療の予約の可否			
【選択肢】可・不可			

1. 分娩取扱施設の概要

項目等			
(1)分娩取扱施設の機能	1. 分娩取扱施設の種別		【選択肢】 ①母子への医療を主とする病院 ②病院（「母子への医療を主とする病院」以外の病院） ③有床診療所 ④助産所
	2. 周産期母子医療センターの指定の有無（病院のみ対象）		【選択肢】 ①総合周産期母子医療センター ②地域周産期母子医療センター
	3. NICU病床数（病院のみ対象）（床）		
	4. 産科病床数（床）（病院・診療所のみ対象）		
	5. 入所可能ベッド数（助産所のみ対象）		
	6. 産科区域の特定の有無（病院のみ対象）		【選択肢】 ①産科専用の病棟がある ②産科専用のスペースが確保されていて専任スタッフがいる混合病棟 ③産科区域の特定なし
	7. 専門職数	a. 医師数（病院・診療所のみ）	a). 産科医師数（人） b). 小児科医師数（人）
		b. 助産師数	a). 助産師数（人） b). 上記のうちアドバンス助産師数（人）
		c. 看護師数・准看護師数（人）	
	(2) 分娩取扱施設の診療	1. 年間の分娩取扱件数	
a. 経膈分娩			

2. 入院中に実施される検査等	b. 帝王切開での出産（病院・診療所のみ対象）		【選択肢】
			① 0～20件
			② 21～40件
			③ 41～60件
			④ 61～80件
			⑤ 81～100件
			⑥ 101～150件
			⑦ 150～200件
			⑧ 201～300件
			⑨ 301～400件
			⑩ 401～500件
			⑪ 501～600件
			⑫ 601～700件
			⑬ 701～800件
			⑭ 801～900件
		⑮ 901～1000	
		⑯ 1001～	
		●うち予定帝王切開での出産	
		●うち緊急帝王切開での出産	
2. 入院中に実施される検査等	a. 新生児聴覚検査	a). 自施設での実施の有無	【選択肢】有・無
		b). 自施設での実施がない場合の新生児聴覚検査可能施設の情報提供の有無	【選択肢】有・無
	b. 小児科医師による新生児の診察		【選択肢】（複数選択可）
			①産婦（母親）の入院中に小児科医師による新生児の診察有
			②産婦（母親）の退院後に連携施設で小児科医師による新生児の診察有
		③産婦（母親）の入院中に小児科以外の産婦人科等の医師による診察、もしくは助産師による新生児への保健指導有	
c. 風疹抗体価が低い産婦に対する風疹含有ワクチンの接種（出産後の接種）（病院・診療所のみ対象）			【選択肢】有・無
		●新生児のビリルビン検査の有無	
		●新生児へのビタミンK2の投与	
3. 産婦健診（産婦健康診査）の実施	a. 2週間健診（産婦健康診査）実施		【選択肢】有・無
	b. 1か月健診（産婦健康診査）の実施		【選択肢】有・無
		●基本的な産後の入院日数	
		●安全に関する指標	
		●新生児救急蘇生法（NCPR）受講の有無	
		●母体救命講習（例えばJ-CIMELS等）受講の有無	

2. 助産ケア

項目等			
(1) 妊娠期のケア	1. 助産師外来実施（病院・診療所のみ対象）		【選択肢】有・無
	●出産準備教育クラス実施の有無		
	●妊婦のメンタルケア、社会的支援の実施の有無		
(2) 妊娠期・分娩期・産褥期のケア	1. 院内助産実施（病院・診療所のみ対象）		【選択肢】有・無
	2. 入院中の授乳育児の支援		【選択肢】有・無
	3. 授乳支援を行う外来の実施（退院後）		【選択肢】
			①授乳支援を行う外来を実施している ②貴施設で出産した産婦（母親）のみを対象とした授乳支援を行う外来を実施している ③授乳支援を行う外来を実施していない
(3) 産後ケア事業	1. 産後ケア事業の実施	a. 宿泊型（ショートステイ）型	【選択肢】有・無
		b. 通所（デイサービス）型（個別型）	【選択肢】有・無
		c. 通所（デイサービス）型（集団型）	【選択肢】有・無
		d. 居宅訪問（アウトリーチ）型	【選択肢】有・無

3. □ 付帯サービス

項目等			
(1) 分娩に関わること	1. 立ち会い出産実施（経膈分娩の場合）	【選択肢】 有・無	
	2. 無痛分娩実施（病院・診療所のみ対象）	【選択肢】	
		①希望による無痛分娩可能	
		②医学的適応のみ対応可能	
	3. 無痛分娩の指標（病院・診療所のみ対象）	a. 無痛分娩の麻酔の方法	【選択肢】複数選択
			①硬膜外麻酔
			②脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔
		b. 無痛分娩麻酔管理者の資格	【選択肢】
			①麻酔科専門医
			②麻酔科標榜医
c. JALAサイトへの掲載		【選択肢】 有・無	
d. JALAのホームページアドレス			
e. 麻酔の実施体制（対応可能時間）		【選択肢】	
		①24時間対応している	
	②24時間対応していない		
	（無痛分娩を行う際の陣痛誘発の有無）	【選択肢】	
	①計画分娩としている		
	②自然陣痛がきてからの無痛分娩としている		
(2) 産後の過ごし方に関わること	1. 母子同室実施（医学的に産婦（母親）や新生児の管理が必要な場合を除く）	【選択肢】	
		①母子同室	
		②母子別室	
	●家族同室実施の有無		
(3) 居室に関わること	1. 個室	【選択肢】 有・無	
	2. 個室利用の際の差額費用支払いの必要性（上記で「有」を選択した場合のみ回答）（医学的理由での個室利用を除く）	【選択肢】 有・無・場合による	
●アメニティに関わること	●特別食の有無		
	●アロマケアの提供の有無		
	●マタニティヨガ等の提供の有無		
	●骨盤ケアの提供の有無		
	●写真・動画撮影のサービスの提供の有無		
	●入院セットの有無		
	●アメニティに関わるその他のサービスの提供の有無		

4. 分娩に要する費用等の公表方法

(1) 分娩に要する費用	【選択肢】複数回答可
	①ホームページに記載
	②施設内での掲示
	③SNSに記載
(2) 室料差額	④パンフレットに記載
	【選択肢】複数回答可
	①ホームページに記載
	②施設内での掲示
	③SNSに記載
(3) 無痛分娩に要する費用（病院・診療所のみ対象）	④パンフレットに記載
	⑤無痛分娩の取扱なし
	【選択肢】複数回答可
	①ホームページに記載
	②施設内での掲示
●産後ケア事業の費用	
	貴施設のホームページのURL
	facebookのURL
	X（旧twitter）のURL
	instagramのURL
	LINEのURL
	その他のホームページ等のURL

5. 出産育児一時金の直接支払制度の専用請求書データ※ここは記入の必要はありません！

(1) 入院日数
(2) 出産費用
(3) 室料差額
(4) 妊婦合計負担額